

FUTABA INDUSTRIAL CO.,LTD.

## 第97期 株主通信

2010年4月1日 ▶ 2011年3月31日



**フタバ産業株式会社**

証券コード：7241

## トップメッセージ

ごあいさつ



代表取締役社長  
三島 康博

東日本大震災により被害に遭われた皆さま、およびご家族の方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、日頃より、フタバ産業株式会社ならびにフタバグループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

当社グループをあげ収益力の改善、環境経営の推進、企業風土の変革に取り組んでまいりました。こうした取り組みの結果、連結業績において営業利益118億円、当期純利益33億円、また個別業績においても6期ぶりに当期純利益15億円を計上し、当期末配当金を3円とさせていただきます。

第97期（2010年4月1日から2011年3月31日）の株主通信をここにお届けいたします。

## 連結決算のポイント

売上高	営業利益	当期純利益
<b>3,734</b> 億円	<b>118</b> 億円	<b>33</b> 億円
前期比0.8%減	前期比273.3%増	6期ぶりの黒字化

Point 1

### 減価償却費の減少と収益改善努力により営業利益が大幅増

減価償却費の減少、またグループ全体で進めている収益改善活動に加え、北米、アジアの生産増による収益向上が寄与したことにより、営業利益が前期比+87億円と、大幅に増加しました。

Point 2

### 純利益黒字化で復配

個別業績においても6期ぶりの当期純利益を計上しました。それにより、当期末の株主配当金を3円とさせていただきます。

## 次期の業績見通し

次期の業績見通しにつきましては、お手数ですが同封の別紙をご参照ください。

## 配当金について

当期末の配当金につきましては、個別業績において6期ぶりに当期純利益を計上できたため、3円の配当とさせていただきます。

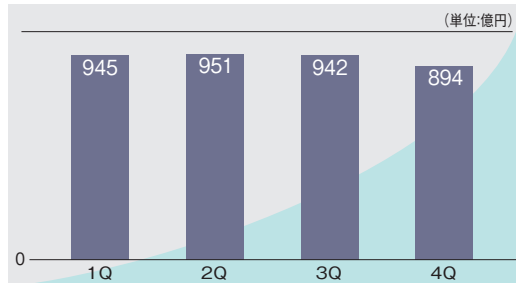
次期につきましては、継続して配当すべく努力してまいります。東日本大震災の影響など取り巻く事業環境は引き続き厳しく、かつ不透明でありますので未定とさせていただきます。

## 当期の業績

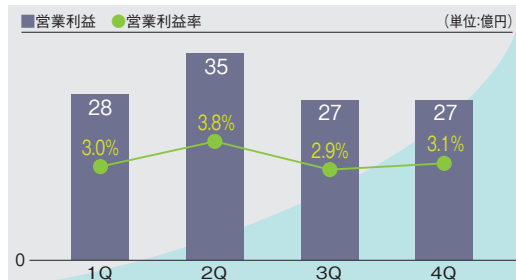
国内経済は、個人消費の持ち直しが見られましたが、年度末の東日本大震災の影響は国内経済に甚大な影響を及ぼし、景気後退が避けられない状況となっております。

当社においても震災の影響により、第4四半期では売上高が大きく落ち込みました。しかしこうした状況の中、これまで継続して取り組んできた原価改善の推進、生産効率の向上などの改善や固定費の削減により一層取り組んだ結果、営業利益は第3四半期と同じレベルを維持し、連結業績、個別業績ともに当期純利益の黒字化を達成することができました。

### 当四半期毎の連結売上高推移

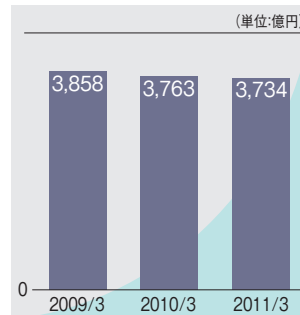


### 当四半期毎の連結営業利益推移

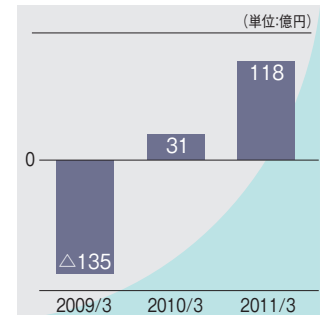


## 連結財務ハイライト

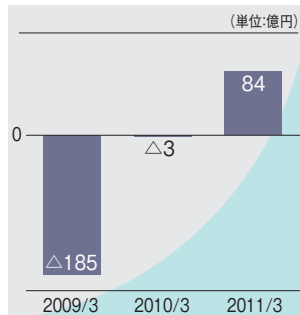
### 売上高



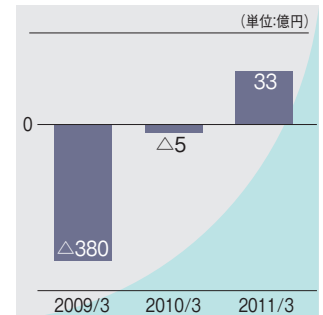
### 営業利益



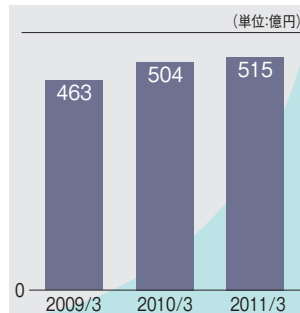
### 経常利益



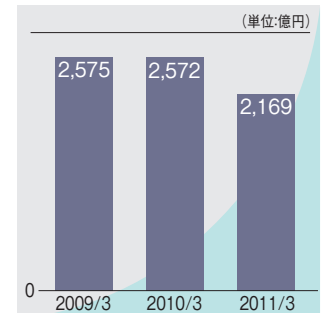
### 当期純利益



### 純資産



### 総資産

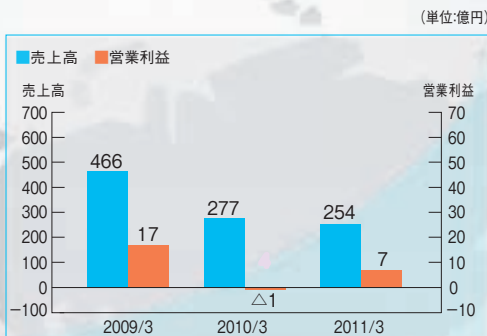


## 地域別業績の状況

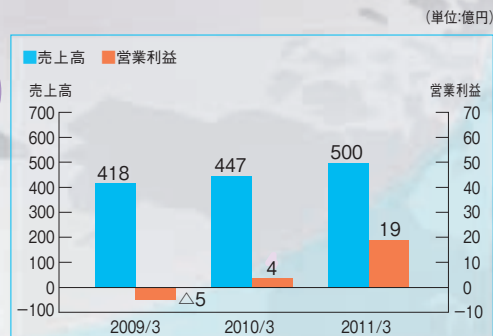
# 全地域で営業利益黒字化

当社グループの連結業績は、徹底した収益改善と世界経済の回復基調もあり、世界全地域で営業利益黒字化。地域別の状況は、売上高で日本2,469億円、北米500億円、欧州254億円、アジア627億円。営業利益で日本20億円、北米19億円、欧州7億円、アジア69億円となりました。

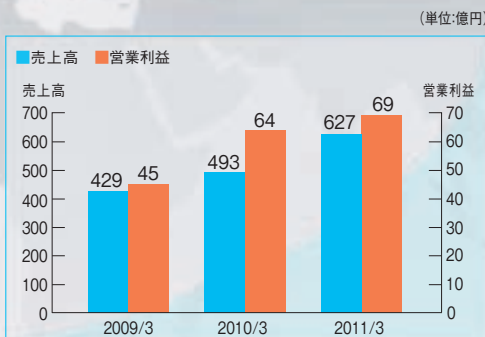
### 欧州



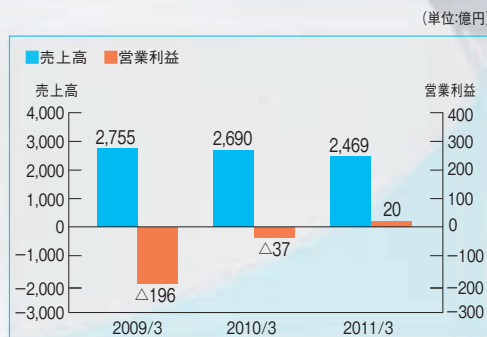
### 北米



### アジア



### 日本



## 連結子会社18社

### 日本(3社)

株式会社フタバ伊万里  
株式会社フタバ平泉  
株式会社アピックス

### 北米(4社)

F I Cアメリカ株式会社  
フタバインディアナアメリカ株式会社  
フタバインダストリアルテキサス株式会社  
F I Oオートモーティブカナダ株式会社

### 欧州(3社)

フタバ・テネコUK株式会社  
フタバインダストリアルUK株式会社  
フタバチエコ有限会社

### アジア(8社)

雙葉科技株式会社  
双叶金属制品(深圳)有限公司  
天津双协機械工業有限公司  
天津双叶協展機械有限公司  
広州双叶汽車部件有限公司  
東莞双叶金属制品有限公司  
双叶金属制品(常州)有限公司  
FMIオートモーティブコンポーネンツ株式会社

## 事業のご紹介

### 自動車部品

#### 主な製品

- 排気系部品
- 足回り部品
- ボディ／内外装部品
- 燃料系部品

当社の排気系システムは、環境性能とエンジンの動力性能を高次元でバランス良く実現し、国内外のカーメーカーから高く評価されています。

ボディ部品、足回り部品などの分野においても、最先端の技術で、安全性、信頼性、コスト競争力に優れた製品を生み出しています。

また、環境問題に対応すべく、未来を見据えた開発活動も積極的に行っています。



### 情報環境機器部品

#### 主な製品

- カラー複合機向けトレイモジュール
- 各種精密部品
- 家庭用燃料電池向け改質器

お客様との同時設計が可能な開発体制と充実した試験環境を有し、設計・開発・生産・納入まで一貫した体制による高付加価値のものづくりを進めています。



## トピックス

レーザー溶接を利用した  
薄板軽量化製品

インパネリインフォース



ブレーキペダル



### トヨタプリウスαに当社製品を搭載

2011年5月13日に販売が開始されたトヨタプリウスα  
に当社の製品が採用されています。

レーザー溶接した軽量化製品などで燃費向上に貢献  
しています。

排気系部品



構造の簡素化、および部品の薄板化と小型化に  
よる軽量化で燃費向上に貢献



## 日中グリーンEXPO2011に出展

この展示会は、環境に対する日中共通の理解を促進しようという催しで、日本企業は環境  
に対する優れた技術や製品をアピールしました。

当社ブースでは、排熱回収器、DPF、レーザー溶接軽量化製品など、環境に配慮した製品を展  
示し、来場者からは多くの関心が寄せられました。今後、環境に配慮した技術を活かし、自動車  
事業はもちろんのこと、それ以外の分野においてもビジネスチャンスを広げてまいります。

**GREEN EXPO**  
Japan - China

会 期	6月1日～3日
会 場	北京 中国ナショナルコンベンションセンター
来 場 者 数	3日間合計 20,230人



## グループ会社の紹介

# FMI オートモーティブコンポーネンツ(株)

インド

FMIは2007年11月にインド・グルガオン市に設立され、2011年3月現在で121名の従業員が働いております。主力製品はエキゾーストマニホールド、マフラーなどの排気系部品です。マルチ・スズキ社に製品を納入しています。

### 主な生産品目



エキゾースト  
マニホールド



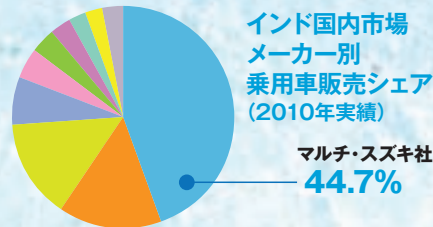
マルチ・スズキ社  
スイフト

### 会社の概要

商号	FMI Automotive Components Ltd.
所在地	インド共和国ハリヤナ州グルガオン市 マネサール工業団地 マルチ・スズキ・インディア・リミテッド(MSIL) マネサール工場 サプライヤーク内
設立	2007年11月
従業員数	121名

## 強み 1

FMIの納入先であるマルチ・スズキ社は、インド市場においてシェア44%を維持して首位に君臨しています。



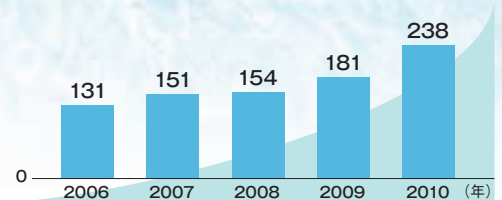
● マルチ・スズキ社	44.7%
● 現代自動車	14.9%
● タタ自動車	14.4%
● マヒンドラ	6.9%
● ゼネラルモーターズ	4.6%
● フォード	3.5%
● トヨタ自動車	3.1%
● ホンダ	2.6%
● フォルクスワーゲン	2.3%
● その他	3.0%

(出所)マークライズ株式会社

## 強み 2

### インド国内市場の乗用車販売台数実績 (単位:万台)

インド市場は、今後さらに伸びると予測されており、2015年には乗用車販売台数は400万台に迫るとされています。



(出所)マークライズ株式会社

## マルチ・スズキ社のNo.1パートナーを目指して



FMI 社員の皆さん

当社は、フタバ産業とインドのナンバーワン自動車メーカーであるマルチ・スズキ社との合併会社として設立され、毎年20%の生産台数増加を背景に短期間で黒字化を達成いたしました。

フタバ産業のものづくりのノウハウと品質管理をインドに根付かせ「よい品、より安く」の精神で日々の生産に励んでおります。今後大きく成長が期待されるインド市場において、FMIは単に物を作るサプライヤーではなく、開発パートナーとしてナンバーワンを目指してまいります。



FMI 井上寿生 社長

# 財務諸表

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (2011年3月31日)	前連結会計年度末 (2010年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>77,611</b>	<b>96,926</b>
現金及び預金	16,727	20,146
受取手形及び売掛金	38,445	52,900
その他	22,542	24,033
貸倒引当金	△ 102	△ 154
<b>固定資産</b>	<b>139,354</b>	<b>160,279</b>
有形固定資産	116,545	135,630
無形固定資産	413	548
投資その他の資産	22,394	24,100
<b>1 資産合計</b>	<b>216,966</b>	<b>257,205</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>112,687</b>	<b>151,425</b>
支払手形及び買掛金	42,550	55,451
短期借入金	39,313	62,938
その他	30,823	33,036
<b>固定負債</b>	<b>52,736</b>	<b>55,319</b>
長期借入金	33,971	37,530
その他	18,765	17,788
<b>2 負債合計</b>	<b>165,423</b>	<b>206,745</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>37,152</b>	<b>33,805</b>
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	13,321
利益剰余金	13,095	8,810
自己株式	△ 146	△ 146
その他の包括利益累計額	925	4,280
少数株主持分	13,465	12,373
<b>3 純資産合計</b>	<b>51,542</b>	<b>50,459</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>216,966</b>	<b>257,205</b>

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)	前連結会計年度 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>373,458</b>	<b>376,323</b>
売上原価	345,326	356,419
売上総利益	28,132	19,903
販売費及び一般管理費	16,246	16,719
<b>営業利益</b>	<b>11,885</b>	<b>3,183</b>
営業外収益	1,509	2,111
営業外費用	4,911	5,694
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>8,483</b>	<b>△ 399</b>
特別利益	—	1,465
特別損失	1,604	3,907
<b>税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)</b>	<b>6,879</b>	<b>△ 2,841</b>
法人税等	771	△ 4,518
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>6,107</b>	<b>—</b>
少数株主利益	2,760	2,243
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>3,346</b>	<b>△ 565</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)	前連結会計年度 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>33,270</b>	<b>51,429</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 14,990</b>	<b>△ 20,281</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 20,596</b>	<b>△ 23,956</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,182	347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 3,497	7,539
現金及び現金同等物の期首残高	20,015	12,475
現金及び現金同等物の期末残高	16,517	20,015



## 1 総資産

総資産については、売上債権および有形固定資産の減少や投資有価証券の時価総額の下落などにより、前連結会計年度末に比べて402億円減少し、2,169億円となりました。

## 2 負債

負債については、仕入債務の減少や短期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べて413億円減少し、1,654億円となりました。

## 個別財務諸表

### 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (2011年3月31日)	前事業年度 (2010年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	42,763	64,434
固定資産	99,761	105,951
資産合計	142,525	170,385
<b>負債の部</b>		
流動負債	72,230	100,656
固定負債	39,295	39,442
負債合計	111,526	140,098
<b>純資産の部</b>		
株主資本	25,556	24,056
評価・換算差額等	5,442	6,229
純資産合計	30,998	30,286
負債純資産合計	142,525	170,385

## 3 純資産

純資産については、利益剰余金の増加などにより11億円増加し、515億円となりました。

### 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)	前事業年度 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>244,498</b>	<b>266,761</b>
売上原価	230,637	258,466
売上総利益	13,860	8,294
販売費及び一般管理費	10,581	11,522
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>3,278</b>	<b>△ 3,227</b>
営業外収益	1,719	1,868
営業外費用	2,894	3,183
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>2,103</b>	<b>△ 4,542</b>
特別利益	—	1,011
特別損失	1,796	4,224
<b>税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)</b>	<b>306</b>	<b>△ 7,755</b>
法人税等	△1,193	△ 5,588
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>1,500</b>	<b>△ 2,166</b>

# 会社の概要

(2011年3月31日現在)

## 会社概要

設立 1935年3月25日  
 創立 1945年11月1日  
 資本金 118億2,017万円  
 従業員数 9,427名(連結)  
 事業内容 自動車等車両部品、情報環境機器部品、治具  
 溶接機等の製造及び販売

## 取締役及び監査役 (2011年6月29日現在)

取締役社長 (代表取締役)	三島 康博	取締役	中村 裕
取締役副社長 (代表取締役)	花井 徹生	取締役	濱田 伸治
専務取締役	北川 淳治	取締役	築瀬 研三
常務取締役	佐々木 康夫	取締役	岩月 幹雄
常務取締役	高倉 昭博	常勤監査役	七原 直久
常務取締役	杉木 梅信	社外監査役	高江 暁
常務取締役	土屋 信悟	社外監査役	本村 博志
常務取締役	二井 広一	社外監査役	清水 良二

## webサイトのご案内

<http://www.futabasangyo.com/>

■ ホームページ



■ 株主・投資家情報ページ



## 事業所

本社・岡崎工場 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地  
 TEL 0564-31-2211  
 緑工場 愛知県豊田市緑ヶ丘6丁目1番地  
 知立工場 愛知県知立市逢妻町道瀬山110番地  
 幸田工場 愛知県額田郡幸田町大字長嶺字柳沢1番1  
 六ツ美工場 愛知県岡崎市在家町字向前田38番地  
 高橋工場 愛知県岡崎市高橋町字一二三24番地  
 田原工場 愛知県田原市緑が浜1号5番

## 連結子会社の状況

会社名	所在地	資本金	議決権比率
(株)フタバ伊万里	佐賀県	460百万円	100.0%
(株)フタバ平泉	岩手県	495百万円	100.0%
(株)アピックス	愛知県	30百万円	75.0%
FICアメリカ(株)	米国	75百万ドル	100.0%
フタバインディアナアメリカ(株)	米国	10百万ドル	100.0%
フタバインダストリアルテキサス(株)	米国	10百万ドル	100.0%
FIOオートモーティブカナダ(株)	カナダ	32百万カナドル	100.0%
フタバ・テネコUK(株)	英国	18百万英ポンド	51.0%
フタバインダストリアルUK(株)	英国	15百万英ポンド	100.0%
フタバチェコ(有)	チェコ	1,000百万チェココナ	85.0%
雙葉科技(株)	香港	56百万香港ドル	95.0%
双叶金属制品(深圳)(有)	中国	150百万香港ドル	100.0%
天津双協機械工業(有)	中国	6百万ドル	50.0%
天津双叶協展機械(有)	中国	11百万ドル	51.0%
広州双叶汽車部件(有)	中国	29百万ドル	51.0%
東莞双叶金属制品(有)	中国	7百万ドル	100.0%
双叶金属制品(常州)(有)	中国	2百万ドル	100.0%
FMIオートモーティブコンポーネンツ(株)	インド	900百万ルピー	51.0%

## 関連会社

協祥機械工業有限公司(台湾)  
 P.T.KomponenFutabaNusapersada(インドネシア)  
 三恵工業株式会社(岡山県)

## 株式の状況

(2011年3月31日現在)

## 株式の状況

## 発行可能株式総数

200,000,000株

## 発行済株式の総数

70,049,627株

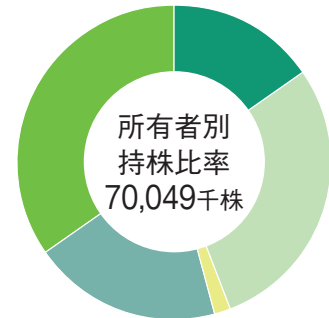
## 株主数

11,727名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	所有比率(%)
トヨタ自動車株式会社	8,585	12.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,049	7.2
株式会社三井住友銀行	3,063	4.3
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,919	4.1
ビービーエイチ493025ブラックロック グローバルロケーション	2,164	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,774	2.5
フタバ協会持株会	1,345	1.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,290	1.8
中央三井信託銀行株式会社	1,162	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	1,133	1.6

## 株式分布状況

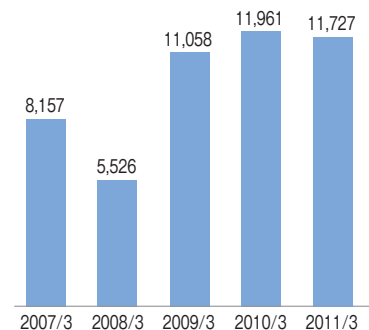


外国法人等	10,888千株	(15.5%)
金融機関	20,161千株	(28.8%)
金融商品取引業者	1,132千株	(1.6%)
その他の法人	13,606千株	(19.4%)
個人その他	24,260千株	(34.6%)

※個人その他には自己及び保振名義株式93千株(0.1%)を含みます。

## 株主数の推移

(単位:名)



## 【 株主メモ 】

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中に開催
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 上記のほか、剰余金の配当をすることができる。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	(〒460-8685) 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社名古屋支店 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
単 元 株 式 数	100株
公 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞および中部経済新聞に掲載します。
上 場 証 券 取 引 所	東京および名古屋証券取引所

### 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。

なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等（特別口座の場合は特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社）にお問い合わせください。



この株主通信は環境に配慮した植物油インキを使用しています。